

※パブリックコメント時の案にパブコメ意見及び正誤修正等を反映したもの

日高山脈及び襟裳岬並びにその周辺地域
を構成地域とする国立公園（名称未定）

指定書

[新規指定]
(環境省原案)

令和 年 月 日
環 境 省

目次

1	指定理由	3
2	地域の概要	4
(1)	景観の特性	4
ア	地形、地質	4
イ	植生・野生生物	5
ウ	自然現象	6
エ	文化景観	6
(2)	利用の現況	6
(3)	社会経済的背景	8
ア	土地所有別	8
イ	人口及び産業	8
ウ	権利制限関係	9
3	公園区域	17

1 指定理由

北海道中央南部に位置する日高山脈は、新第三紀以降に大陸プレート同士の衝突によって生じた最高地点 2,052m（幌尻岳^{ぼろしり}山頂）、狩勝峠付近から襟裳岬にかけて連なる、南北およそ 140km、東西 30km の大起伏山地である。稜線部には、カール（圏谷）、ホルン（氷食尖峰）、アレート（鋸歯状山稜）といった氷食地形と高山植物や雪氷とが織りなす山岳景観がみられる。稜線部から山麓部にかけては、自然度の高い森林や河川が存在しており、シマフクロウやクマタカ等の生態系上位種や、特異な地質や環境に対応した固有種及び希少種の生育地等となっているほか、優れた森林景観及び溪谷景観を有している。日高山脈が南に延びて太平洋に達する襟裳岬は、海食崖、岩礁を主体とした海岸景観が優れており、海岸部には海成段丘も発達している。日高山脈の南端に位置するアポイ岳は、海拔 810m という低山ながら夏の低温などの厳しい気象条件と「幌満かんらん岩体」と呼ばれる特殊な超塩基性地質の影響により、固有種の宝庫となっている。平野部から日高山脈を眺望した際には、延々と連なる印象的な山並み景観が見られ、「原風景」として地域の人々に深く意識されている。また、日高山脈はアイヌのイオル（伝統的生活空間）としても重要であり、アイヌの精神文化の一つとしてカムイ（アイヌの神）である霊峰ポロシ^シ（幌尻岳）等への崇拜など山脈部から山麓部まで一体となった文化景観としての価値も高い。

このように、本国立公園は、地殻変動を受けて形成された非火山性連峰を基盤に、山地を核として育まれた深く原始的な自然林生態系が広がる風景を風景型式としている。当該風景型式の中でも、本公園の風景は、日本列島の形成過程を反映して形成された山脈が内陸部から海まで延々と連なる雄大さと、その山脈が原生性を有する自然状態のまま我が国最大規模のまとまりを持って存在する点において我が国を代表するに足る傑出した自然の風景地となっている。

なお、「国立公園及び国定公園の候補地の選定及び指定要領（平成 25 年 5 月 17 日付け環自国発第 1305171 号 環境省自然環境局長通知）」に記載される国立公園の候補地の要件のうち上記で述べた景観の要件以外の項目については、以下のとおりである。

① 規模

本国立公園の区域面積は 252,177ha（海域を含む。）である。

② 自然性

本国立公園の原始的な景観核心地域は、日高山脈及び山脈から海岸部へ連なる一体的な自然景観であり、その合計区域面積は 194,276ha である。

③利用

日高山脈の山岳部は我が国最大の面積を持つ原始的な自然環境が広がっており、利用施設は山麓部に点在している。

利用箇所としては、十分な知識・経験・計画を前提とした日高山脈稜線部の本格的な登山のほか、多くの利用者が日高山脈の一端に触れることが可能なアポイ岳などの低山への登山、園地散策、国指

定名勝「ピリカノカ」に指定されている幌尻岳、十勝幌尻岳、襟裳岬をはじめとする景勝地探訪、アポイ岳におけるユネスコ世界ジオパークのジオサイト見学や多くの固有種を含む高山植物や野生生物の観察など、利用の多様性に富んでいる。

④地域社会との共存

住民説明会等の開催を通じて地域住民の国立公園の保護及び利用への理解を深め、地域の産業や社会と調整を図り、関係市町村の同意を経て、指定するものである。

2 地域の概要

(1) 景観の特性

ア 地形、地質

日高山脈は、北海道中央南部に位置する南北およそ 140km に及ぶ脊梁山脈である。最高地点は 2,052m の幌尻岳で、主稜線の標高はおおむね 1,500m～2,000m である。主稜線の周囲には、多数のカルやホルンなどの氷河地形が分布する。典型的な氷河地形が分布する山域は北海道内では少なく、日高山脈の特徴的な山岳景観を形成している。

また、山麓部には多数の河川により発達した広大な河成段丘や扇状地があり、山脈の東側は扇状地が段丘化した開析扇状地であり、日本でも有数の広さを誇る十勝平野に連なっており、西側の様似川や日高幌別川沿い等に河成段丘が発達している。

約 1,300 万年前北海道付近は 2 つの巨大プレート（北米プレートとユーラシアプレート）が衝突する場所であり、白亜紀以降大西洋が拡大し続け、プレートの衝突が進行し、その結果日高山脈が形成された。山脈の大部分を占める日高変成帯は、古第三紀以降に形成された若い地質時代の島弧地殻で、深成岩類や変成岩類からなる。日高変成帯は島弧リソスフェア（上部マントル～上部地殻）の地質断面が東西地質断面として地表に露出したものであり、島弧の地下で起こったマグマ発生の地質イベントを地表で観察できる場所として学術的に貴重である。

また、日高変成帯の西端には島弧リソスフェアの最下部を構成する上部マントルかんらん岩が分布する。このうち最大の露出がアポイ岳周辺のかんらん岩で、このかんらん岩は変成作用の影響が少ない上部マントル鉱物からできている。また、岩体を構成する岩石タイプが極めて多彩である。このように新鮮（変成作用を受けておらず上部マントルの情報をそのまま保持している）でかつ多様なタイプのかんらん岩から成り、大規模に露出するアポイ岳のかんらん岩は「幌満かんらん岩体」として世界的に有名で、玄武岩質マグマの生成や上昇移動、島弧リソスフェア深部のマグマプロセスなど上部マントルで起こる地学現象の解明に関する膨大な研究の対象となっている。

日高山脈の地質に関する特徴や価値は次の 4 点にまとめられる。

1. 日高山脈は、活発に活動する島弧リソスフェア深部を代表する地質と岩石からできている。
2. その地質と岩石は、上部マントルから地殻浅所の岩石まで規則正しく成層していることから、連続的に観察することができる。

3. このような地質と岩石が地表に露出している地域は、世界的に珍しい。
4. その形成年代は新生代（5,500～1,700 万年前）で、極めて新しいことから、日高山脈の岩石が、島弧リソスフェア深部でできたときの貴重な学術情報をほぼそのまま残している。

日高山脈の東西方向の連続的な岩石の露出は、横倒しにして見ると、元の生成場所である深さ約 30km の地殻の断面と一致する。上部マントルから地殻上部に至る変成岩の連続した地質体のセットは、様々な学術的な要求に応えられる非常に貴重なものである。このように島弧地殻を含み、連続的な地殻断面が残っている地域は、世界に日高山脈とパキスタン北部のコヒスタン帯の 2 箇所しか知られておらず、学術的な価値が非常に高い。

イ 植生・野生生物

日高山脈一帯は潜在自然植生としては北方型の針葉樹林帯に位置し、本国立公園及びその周辺には広大な自然林が広がる。樹種構成は、地形・地質・気象の影響で地域によって様相が異なり、山脈の西側北部はエゾマツ・トドマツから成る針葉樹林、西側南部はトドマツ・ミズナラ・エゾイタヤ等から成る針広混交林である。一方、地形が急峻で雪崩の影響を受けやすい東側は針葉樹が定着せずダケカンバが優占する。また、日高山脈は多くの河川の源流部となっているが、これらは自然度が高く人工構築物が存在しない原生流域であり、本国立公園は我が国最大の原生流域となっている。

日高山脈で確認された維管束植物種数は 129 科 1,616 種である。このうち、日高山系の固有種（亜種、変種、品種を含む）は 15 科 31 種である。かんらん岩に代表される特殊な地質と結びついた固有種や隔離分布種、日高南部に隔離分布する温帯性植物は、本国立公園の植物相を特徴づけている。

日高山脈北部のかんらん岩・蛇紋岩からなる超塩基性岩地では、超塩基性岩地に依存して隔離分布するユキバヒゴタイやカトウハコベ等が見られる。また、アポイ岳は標高が 800m 程度で小さな山塊にも関わらず、後氷期に入った過去 1 万年もの間森林化せず、高山植物や超塩基性岩植物が生育し、超塩基性岩の影響を受けた本公園における固有植物が 17 種確認されている。さらに、日高地方には北限の自生地として国指定天然記念物に指定されているゴヨウマツのほかヒダカミツバツツジなどの温帯性植物が隔離分布しており、これらの種の重要な生育地となっている。

哺乳類相では、氷河期の遺存種といわれるエゾナキウサギやミヤマムクゲネズミ、大型哺乳類であるヒグマやエゾシカ、海生哺乳類であるゼニガタアザラシを含め、12 科 35 種が確認されている。鳥類はハイマツ帯から山麓部の森林帯にかけて 54 科 264 種が記録されており、生態系上位種で希少種であるクマタカやシマフクロウの生息地として重要である。昆虫類では 280 科 2,626 種が報告されており、チョウ類では国指定天然記念物であるカラフトリシジミ、ダイセツタカネヒカゲが日高山脈稜線部の高山帯に生息し、ヒメチャマダラセセリはアポイ岳にのみ生息する。陸産貝類ではアポイマイマイ、甲虫類ではチビゴミムシ類など北海道の他では見られない固有種が多く確認されている。

ウ 自然現象

海流の影響を受ける日高側と内陸的な気候を有する十勝側の異なる気象条件を反映し、雲海があふれて日高山脈の稜線を越えてなだれ込む、いわゆる滝雲現象が見られることがある。

エ 文化景観

本国立公園では、幌尻岳（ポロシリ）、十勝幌尻岳（ポロシリ）、襟裳岬（オンネエングルム）の3箇所が「ピリカノカ」として国指定名勝の指定を受けている。ピリカノカとは、アイヌ語で「美しい・形」を意味し、アイヌの物語や伝承、祈りの場、言語に彩られた優秀な景勝地群を総称するものであり、古くから景勝地として人々に認識されてきたことを示している。

アイヌの人達の間では、日高山脈にまつわる伝承が複数存在する。例えば、幌尻岳には「山頂に海水湖がある」との伝承がある。そこには神々が来て遊ぶ聖なる庭があり、沼の中には昆布が生え、秋になるとたくさんの海鳥やアザラシ・トドが渡ってきてこの沼で冬を越し、春になるとまた海へ戻っていくといわれている。実際、戸蔦別岳の南には日高山脈でも最大級の面積を有する七つ沼カールがあり、カール底には複数の沼が存在する。

平野から眺望する日高山脈については、その美しい山並み景観から、芸術の対象とされてきた。坂本直行（1906年～1982年）は、四季に応じて刻々と変化する日高山脈を背景に取り入れた風景画を数多く描いており、日高山脈の持つ神々しい美しさが印象づけられる。

様似町とえりも町には、江戸幕府が北方警備を強化するために整備した山道が存在しており、北海道の命名者である松浦武四郎（1818年～1888年）もこの山道を歩き、多くの記述と絵図を残している。明治以降、海岸線に道路が整備されるとこれらの山道は廃れていったが、現在は山道の整備が行われて国指定史跡に指定されており、山道のトレッキングを楽しむことができる。

(2) 利用の現況

本国立公園には日高地方若しくは十勝地方からアクセスすることになる。日高山脈を東西に横切る車道は2本あり、日勝峠を経由する国道274号線（石勝樹海ロード）や野塚トンネルを経由する国道236号線（天馬街道）からは、日高山脈の優れた山岳景観や森林景観を手軽に展望することができる。海沿いに様似町からえりも町を経由して広尾町に至る道路は、切り立った海食崖を縫うように道路が作られており、特にえりも町から広尾町に至る区間は黄金道路と呼ばれ、トンネル区間が多いものの随所に優れた海岸景観を展望することができる。襟裳岬に至る道路は氷期―間氷期サイクルの海面変動と地殻変動によって形成された海成段丘の上を通っており、開放的で爽快な景観を楽しむことができる。

本国立公園の核心部の利用形態としては、山が険しくアクセス道路が限られていることから、夏期を中心とした本格的な登山が主である。これほどの長大な山脈でありながら整備された登山道や避難小屋は一部の山域にしか存在せず、多くのルートは沢登りと藪漕ぎといった難易度の高い登山形態となり、相応の体力・登山技術・装備を要求される。長い歩道歩きを経て氷河に削られた氷食谷（U字谷）を遡行し、カールに辿り着くと、一気に開けた地形に高山植物が広がる。ハイマツ帯を抜けて稜

線部に立てば、ホルンやアレートといった氷食地形から構成される切り立った主稜線が延々と続き、裾野まで森林に覆われた自然度の高い景観の中、大雪山、夕張山地、十勝平野、石狩平野、太平洋、果ては羊蹄山までが一望にでき、まさに北海道の脊梁山脈に立っていることを実感できる。

一方で、山麓部には低山も複数あり、北日高岳、ペケレベツ岳、剣山やアポイ岳等は山域が小規模で登山道があることから日帰り登山が一般的であり、カールなどの氷食地形は存在しないものの、山頂からは雄大な自然景観を楽しむことができる。特にアポイ岳は、本国立公園の重要な景観要素である特異な地質と多くの固有種を比較的簡単に観察することができ、人気が高い。

本国立公園の利用者は、高山植物の開花時期や登山適期である6月～8月が多く、(旧)日高山脈襟裳国定公園における令和元年度の年間利用者数は約36万人(自然公園の手引き2022：自然公園財団)であった。花の名山として有名なアポイ岳の年間登山者数は、約8千人(令和4年度)である。主な観光施設利用者数は、様似町のアポイ山荘が約8万人、えりも町の襟裳岬が約10万人(令和3年度日高管内観光入込客数：北海道)である。

(3) 社会経済的背景

ア 土地所有別

本国立公園は、公園区域 245,668ha（陸域）のうち、国有地 213,256ha（86.8%）、公有地 27,745ha（11.3%）、私有地 4,667ha（1.9%）である。

イ 人口及び産業

本公園区域の13市町村の令和4年1月1日現在の住民基本台帳人口は以下の表のとおりである。区域を含む市町村人口は、27万人余りであり、約60%を帯広市が占めている。

(単位：人)

市町村	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和4年
帯広市	173,030	170,580	168,057	168,753	166,043	165,047
日高町※	15,783	14,730	13,615	12,913	11,919	11,445
平取町	6,503	6,173	5,596	5,416	4,923	4,659
新冠町	6,204	6,034	5,775	5,735	5,483	5,249
浦河町	16,634	15,698	14,389	13,289	12,166	11,720
様似町	6,210	5,711	5,114	4,706	4,230	4,087
えりも町	6,248	5,796	5,413	5,153	4,623	4,428
新ひだか町※	28,438	27,265	25,419	24,295	22,242	21,388
清水町	10,988	10,464	9,961	9,896	9,370	9,157
芽室町	17,586	18,300	18,905	19,218	18,648	18,181
中札内村	4,116	3,983	4,006	4,080	3,917	3,913
大樹町	6,711	6,407	5,977	5,845	5,526	5,423
広尾町	9,284	8,672	8,121	7,468	6,669	6,359
合計	307,735	299,813	290,348	286,767	275,759	271,056

※平成18年に旧日高町と門別町が合併して日高町に、平成17年に静内町・三石町が合併して新ひだか町となった。
住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査データより／総務省自治行政局

年齢別の人口は、65歳以上の人口割合がほとんどの市町村で30%を超えている。全体では32%に達しており、全国(29%)よりも高齢化が進んでいる。

(単位：人)

市町村	0～14歳		15～64歳		64歳～		計
	人口	割合	人口	割合	人口	割合	
帯広市	18,755	11%	96,958	59%	49,334	30%	165,047
日高町	1,168	10%	6,195	54%	4,082	36%	11,445
平取町	504	11%	2,445	52%	1,710	37%	4,659
新冠町	599	11%	2,913	55%	1,737	33%	5,249
浦河町	1,174	10%	6,536	56%	4,010	34%	11,720
様似町	345	8%	1,995	49%	1,725	42%	4,087
えりも町	511	12%	2,377	54%	1,511	34%	4,428
新ひだか町	2,351	11%	11,557	54%	7,480	35%	21,388
清水町	927	10%	4,808	53%	3,422	37%	9,157
芽室町	2,376	13%	10,309	57%	5,496	30%	18,181
中札内村	501	13%	2,267	58%	1,145	29%	3,913
大樹町	611	11%	2,887	53%	1,925	35%	5,423
広尾町	574	9%	3,182	50%	2,559	41%	6,359
全体	30,396	11%	154,429	57%	86,136	32%	271,056

令和4年住民基本台帳年齢階級別人口(令和4年1月1日現在)

本国立公園を有する 13 市町村の産業別人口は次のとおりである（令和 2 年現在）。

（単位：人）

振興局	市町村名	第1次産業		第2次産業		第3次産業		計
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	
十勝総合振興局	帯広市	1,917	3.1%	11,232	17.9%	49,503	79.0%	62,652
日高振興局	日高町	1,371	27.3%	685	13.7%	2,960	59.0%	5,016
	平取町	361	18.7%	375	19.4%	1,195	61.9%	1,931
	新冠町	666	28.8%	358	15.5%	1,287	55.7%	2,311
	浦河町	1,119	20.8%	627	11.6%	3,640	67.6%	5,386
	様似町	214	13.7%	377	24.2%	966	62.0%	1,557
	えりも町	219	16.0%	216	15.8%	933	68.2%	1,368
	新ひだか町	1,257	14.6%	1,228	14.2%	6,142	71.2%	8,627
十勝総合振興局	清水町	525	15.3%	768	22.4%	2,134	62.3%	3,427
	芽室町	533	7.9%	1,387	20.5%	4,846	71.6%	6,766
	中札内村	288	18.2%	282	17.8%	1,015	64.0%	1,585
	大樹町	592	23.8%	545	21.9%	1,350	54.3%	2,487
	広尾町	358	13.8%	645	24.9%	1,589	61.3%	2,592
	全体	9,420	8.9%	18,725	17.7%	77,560	73.4%	105,705

出典：令和2年度国勢調査
※分類不能の産業は除く

ウ 権利権限関係

(ア) 保安林

(国有林)

種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
水源かん養	沙流郡日高町	34,790	昭 35・6・9 昭 36・5・23 昭 42・10・9 平 15・10・8
	沙流郡平取町	20,117	昭 36・5・23 昭 42・10・9 平 10・10・29 平 15・10・8
	新冠郡新冠町	14,326	昭 36・5・23 昭 42・10・9 平 5・6・11 平 15・1・24 平 15・10・8
	浦河郡浦河町	12,033	大 13・12・25 昭 31・12・10 昭 36・10・9

種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
			昭 42・10・9 平 15・10・8
	日高郡新ひだか町	37,800	昭 36・6・28 昭 36・10・9 昭 42・10・9 平 6・4・15 平 12・1・24 平 1・10・8
	河西郡芽室町	9	昭 36・6・28 昭 42・10・9 昭 53・2・2
	広尾郡大樹町	7,281	平 16・2・3
	広尾郡広尾町	7,521	平 16・2・3
土砂流出防備	帯広市	10,915	昭 37・6・29 昭 53・2・2 平 17・2・21
	沙流郡日高町	2,056	昭 35・6・9 平 10・10・29 平 15・10・8 平 23・3・15
	沙流郡平取町	3,771	平 10・10・29 平 15・10・8
	新冠郡新冠町	1,646	平 15・10・8
	日高郡新ひだか町	1,861	昭 36・10・9
	上川郡清水町	6,422	平 16・2・3
	河西郡芽室町	6,210	昭 37・6・29 昭 53・2・2 平 17・2・21
	河西郡中札内村	13,447	昭 37・6・29 昭 53・2・2 平 17・2・21

種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
	広尾郡大樹町	18,911	昭 37・6・29 昭 46・3・25 平 16・2・3
	広尾郡広尾町	11,944	昭 37・6・29 平 1・6・13 平 16・2・3
土砂崩壊防備	広尾郡広尾町	151	昭 37・6・29
飛砂防備	幌泉郡えりも町	414	昭 36・7・26 昭 48・3・30
保健	沙流郡日高町	2,306	平 2・7・18 平 10・10・29
	幌泉郡えりも町	414	平 15・10・8
	河西郡中札内村	1,466	平 17・2・21
	広尾郡広尾町	43	平 15・10・8
魚つき	幌泉郡えりも町	414	平 15・10・8

(道有林)

種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
水源かん養	浦河郡浦河町	4,410	昭 31・12・10
	様似郡様似町	9,003	昭 43・5・7 昭 56・9・17 昭 60・8・20
	幌泉郡えりも町	10,968	昭 56・9・17 昭 56・10・14
土砂流出防備	様似郡様似町	1,677	昭 4・1・20 昭 4・2・21 昭 43・5・7 昭 50・4・23 昭 52・8・9 平 3・5・24
	幌泉郡えりも町	208	昭 46・1・9 昭 50・4・23 昭 53・3・13

土砂崩壊防備	幌泉郡えりも町	434	昭 43・5・7
保健	浦河郡浦河町	2,872	平 8・7・26 平 15・5・16
	様似郡様似町	1,507	昭 54・10・24 平 4・6・5
魚つき	様似郡様似町	1,350	平 16・3・23
	幌泉郡えりも町	934	平 16・1・27 平 16・3・23
防風	様似郡様似町	16	大 10・11・22

(民有林)

種 類	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日
水源かん養	様似郡様似町	7	昭 55・7・4
土砂流出防備	帯広市	7	昭 53・2・2
	様似郡様似町	22	昭 43・5・7 昭 47・4・21 昭 55・5・31 平 2・4・26 平 6・3・2 平 15・10・3 平 20・5・23 平 20・8・29 平 21・4・21 平 21・7・2 平 22・1・12 平 23・3・22
	河西郡中札内村	52	昭 53・2・2
土砂崩壊防備	様似郡様似町	1	昭 53・10・7
	幌泉郡えりも町	4	昭 49・12・4 昭 52・3・23 昭 53・1・7 昭 59・8・27
	広尾郡広尾町	0.1	昭 53・10・7

飛砂防備	幌泉郡えりも町	10	昭 48・3・30
保健	幌泉郡えりも町	9	平 15・2・28
魚つき	幌泉郡えりも町	9	平 15・2・28
防風	様似郡様似町	4	昭 51・1・16
なだれ防止	広尾郡広尾町	2	昭 43・12・10 平 4・10・13

(イ) 鳥獣保護区

名 称	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日
道指定日勝 (特別保護地区)	沙流郡日高町	872.8 (うち特保 131.5)	平 22・10・1
道指定歴舟川 (特別保護地区)	広尾郡大樹町	556.6 (うち特保 61.4)	平 15・10・1
道指定アポイ岳	様似郡様似町	511.5	平 15・10・1
道指定幌満 (特別保護地区)	様似郡様似町	435.4 (うち特保 138.1)	平 16・10・1
道指定豊似湖	幌泉郡えりも町	268.2	平 15・10・1

※面積は GIS ソフトによる計測

(ウ) 史跡名勝天然記念物

区 分	名 称	位 置	指定年月日
国指定史跡	様似山道	様似郡様似町(冬島～幌満)	平 30・2・13
国指定史跡	猿留山道	幌泉郡えりも町	平 30・2・13
国指定名勝	ピリカノカ 襟裳岬 (オンネエンルム)	幌泉郡えりも町	平 22・8・5

国指定名勝	ピリカノカ 十勝幌尻岳（ポロシリ）	帯広市、河西郡中札内村	平 24・9・19
国指定名勝	ピリカノカ 幌尻岳（ポロシリ）	沙流郡平取町、新冠郡新冠町	平 25・10・17
国指定 天然記念物	沙流川源流原始林	沙流郡日高町	昭 45・12・4
国指定 天然記念物	幌満ゴヨウマツ自生地	様似郡様似町字幌満	昭 18・8・24
国指定特別 天然記念物	アポイ岳高山植物群落	様似郡様似町字冬島	昭 27・3・29

(エ) その他

河川区域

種類	位置	重複延長 (m)	指定年月日
札内川	北海道河西郡中札内村	7,200	平9・12

海岸保全区域

種類	位置	重複延長 (m)	指定年月日
漁港海岸 (冬島)	北海道様似郡様似町	408	昭39・2・1
漁港海岸 (目黒)	北海道幌泉郡えりも町	72	昭36・5・30
漁港海岸 (庶野)	北海道幌泉郡えりも町	105	昭34・2・26
漁港海岸 (えりも岬)	北海道幌泉郡えりも町	148	昭39・2・1
漁港海岸 (東洋)	幌泉郡えりも町	177	昭36・5・30
漁港海岸 (音調津)	北海道広尾郡広尾町	368	昭26・6・29
建設海岸 (冬島地区海岸)	北海道様似郡様似町	969	昭36・5・30
建設海岸 (平宇地区海岸)	北海道様似郡様似町	1,600	昭36・5・30
建設海岸 (目黒地区海岸)	北海道幌泉郡えりも町	1,875	昭36・5・30
建設海岸 (庶野地区海岸)	北海道幌泉郡えりも町	8,546	昭36・5・30
建設海岸 (襟裳地区海岸)	北海道幌泉郡えりも町	2,824	昭36・5・30
建設海岸 (東洋地区海岸)	北海道幌泉郡えりも町	8,288	昭36・5・30
建設海岸 (フンベ地区海岸)	北海道広尾郡広尾町	1,325	昭36・5・30
建設海岸 (美幌地区海岸)	北海道広尾郡広尾町	1,466	昭36・5・30

建設海岸（オナオベツ地区海岸）	北海道広尾郡広尾町	2,308	昭36・5・30
建設海岸（オリコマナイ地区海岸）	北海道広尾郡広尾町	1,077	昭36・5・30
建設海岸（モエケシ地区海岸）	北海道広尾郡広尾町	1,448	昭36・5・30
建設海岸（ルベシベツ地区海岸）	北海道広尾郡広尾町	2,042	昭36・5・30
建設海岸（タンネソ地区海岸）	北海道広尾郡広尾町	4,842	昭36・5・30

保護林等

種 類	名 称	指定年月日
森林生態系保護地域	日高山脈森林生態系保護地域	平7・4・1
緑の回廊	大雪・日高緑の回廊	平13・4・1
北海道生物の多様性の保全等に関する条例	アポイ岳地区ヒダカソウ生育地保護区	平16・3・2
北海道生物の多様性の保全等に関する条例	幌満岳地区ヒダカソウ生育地保護区	平16・3・2

3 公園区域

日高山脈及び襟裳岬並びにその周辺地域を構成地域とする国立公園（名称未定）の区域を、次のとおりとする。

（表 1：公園区域（陸域）表）

都道府県名	区 域	面積 (ha)
北 海 道	帯広市内 国有林十勝西部森林管理署 290 林班から 298 林班まで、302 林班から 305 林班まで、308 林班、327 林班及び 328 林班の全部並びに 301 林班、306 林班、307 林班、309 林班、310 林班、330 林班、331 林班及び 333 林班から 335 林班までの各一部 帯広市 拓成町の一部	10,949 [国 10,949] 公 0 私 0
	沙流郡日高町内 国有林日高北部森林管理署 40 林班から 54 林班まで、56 林班から 143 林班まで、148 林班から 193 林班まで、198 林班、209 林班から 212 林班まで、215 林班から 253 林班まで、288 林班から 304 林班まで、320 林班、322 林班、2035 林班、2057 林班及び 2058 林班の全部並びに 194 林班から 195 林班まで、204 林班及び 2033 林班の各一部 沙流郡日高町 字千栄、字富岡の一部	37,164 [国 37,129] 公 32 私 3
	沙流郡平取町内 国有林日高北部森林管理署 1089 林班から 1229 林班までの全部	24,108 [国 24,108] 公 0 私 0

都道府県名	区 域	面積 (ha)
	<p>新冠郡新冠町内 国有林日高南部森林管理署 1033 林班から 1035 林班まで、1056 林班、1060 林班、1064 林班から 1072 林班まで、1074 林班から 1097 林班まで、1104 林班、1105 林班、1113 林班、1114 林班及び 2086 林班から 2088 林班までの全部 並びに 1007 林班、1008 林班、1012 林班、1016 林班から 1020 林班まで、1022 林班から 1024 林班まで、1031 林班、1032 林班、1036 林班から 1038 林班まで、1055 林班、1057 林班、1059 林班、1061 林班、1073 林班、1106 林班、1112 林班、1115 林班、1116 林班、2059 林班、2060 林班、2084 林班、2085 林班及び 2089 林班から 2092 林班までの各一部</p> <p>新冠郡新冠町 字岩清水の一部</p> <p>新冠郡新冠町内 幌尻湖の全部</p>	<p style="text-align: right;">16,063</p> <p style="text-align: center;">[国 16,061] [公 0] [私 1]</p>
	<p>浦河郡浦河町内 国有林日高南部森林管理署 3013 林班から 3016 林班まで、3023 林班から 3027 林班まで、3087 林班、3090 林班から 3092 林班まで、3099 林班、3102 林班から 3104 林班まで、3108 林班から 3117 林班まで及び 3119 林班から 3121 林班までの全部 並びに 3012 林班、3017 林班、3022 林班、3028 林班、3088 林班、3089 林班、3093 林班から 3098 林班まで及び 3118 林班の各一部</p> <p>道有林日高管理区 13 林班、18 林班から 20 林班まで及び 25 林班から 30 林班までの全部 並びに 17 林班及び 23 林班の一部</p> <p>浦河郡浦河町 字上杵臼の一部</p>	<p style="text-align: right;">16,486</p> <p style="text-align: center;">[国 12,076] [公 4,410] [私 0]</p>

都道府県名	区 域	面積 (ha)
	様似郡様似町内 道有林日高管理区 45 林班から 48 林班まで、50 林班、52 林班から 62 林班まで、65 林班、68 林班、69 林班、71 林 班から 75 林班まで、77 林班、87 林班から 90 林 班まで、92 林班から 97 林班まで、100 林班から 102 林班まで、105 林班及び 106 林班の全部並び に 43 林班、44 林班、49 林班、51 林班、78 林班、 79 林班及び 82 林班の各一部 様似郡様似町 字大泉、字平宇、字冬島及び字幌満の各一部	15,313 [国 1 公 11,581 私 3,731]
	幌泉郡えりも町内 国有林日高南部森林管理署 3219 林班から 3221 林班までの全部 道有林日高管理地区 107 林班、112 林班、113 林班、116 林班から 148 林班まで及び 156 林班の全部 並びに 115 林班、149 林班、154 林班、162 林 班、163 林班、165 林班及び 166 林班の各一部 幌泉郡えりも町 字えりも岬、字庶野、字東洋及び字目黒の各一部	12,873 [国 420 公 11,649 私 804]
	日高郡新ひだか町内 国有林日高南部森林管理署 31 林班から 35 林班まで、39 林班から 70 林班まで 、74 林班から 85 林班まで、89 林班、127 林班か ら 138 林班まで、140 林班、143 林班、146 林班か ら 150 林班まで、156 林班から 240 林班まで、313 2 林班から 3135 林班まで、3137 林班、3138 林班 、3140 林班から 3144 林班まで及び 3154 林班の全 部 並びに 145 林班の一部 日高郡新ひだか町 字静内高見の一部	39,947 [国 39,935 公 12 私 0]

都道府県名	区 域	面積 (ha)
	上川郡清水町内 国有林十勝西部森林管理署 18 林班、19 林班、32 林班、36 林班、44 林班、 46 林班及び 47 林班の全部 並びに 22 林班から 24 林班まで、26 林班から 28 林班まで、30 林班、31 林班、33 林班から 35 林 班まで及び 37 林班から 43 林班までの各一部 上川郡清水町 字清水の一部	6,441 [国 6,441] 公 0 私 0
	河西郡芽室町内 国有林十勝西部森林管理署 257 林班及び 262 林班から 265 林班までの全部 並びに 247 林班、248 林班、254 林班、256 林 班、258 林班から 260 林班まで、266 林班、267 林班、271 林班から 273 林班まで 277 林班及び 278 林班の各一部	6,221 [国 6,221] 公 0 私 0
	河西郡中札内村内 国有林十勝西部森林管理署 352 林班から 374 林班の全部 並びに 351 林班、375 林班及び 376 林班の各一部 河西郡中札内村 字南札内の一部 河西郡中札内村内 とかちリュウタン湖の全部	13,801 [国 13,740] 公 61 私 0
	広尾郡大樹町内 国有林十勝西部森林管理署 2014 林班から 2032 林班まで、2039 林班から 2049 林班まで、2062 林班から 2075 林班まで及 び 2094 林班から 2109 林班までの全部 並びに 2057 林班、2088 林班及び 2092 林班の各 一部	26,340 [国 26,340] 公 0 私 0

都道府県名	区 域	面積 (ha)
	<p>広尾郡広尾町内 国有林十勝西部森林管理署 1005 林班から 1008 林班まで、1014 林班、1015 林班、1017 林班から 1027 林班まで、1039 林班から 1042 林班まで、1054 林班から 1066 林班まで、1072 林班から 1078 林班まで、1080 林班から 1086 林班まで、1088 林班から 1091 林班まで、1096 林班から 1101 林班まで、1117 林班、1118 林班及び 1142 林班から 1145 林班までの全部 並びに 1003 林班、1004 林班、1009 林班、1012 林班、1013 林班、1016 林班、1037 林班、1038 林班、1071 林班、1079 林班、1087 林班、1092 林班、1094 林班、1095 林班、1102 林班から 1105 林班まで、1109 林班から 1111 林班まで、1116 林班、1119 林班、1126 林班、1127 林班及び 1133 林班の各一部</p> <p>広尾郡広尾町 字エビニマイ、字音^{おしらべつ}調律、字上トヨイ北1線、字上トヨイ南1線、字カムイオロクベ、字タンネソ、字野塚、字ビタタヌンケ、字ビボロ、字フンベ、字モエケシ、字茂^{もより}寄及び字ルベシベツの各一部</p>	<p style="text-align: right;">19,963</p> <p style="text-align: center;">[国 19,835]</p> <p style="text-align: center;">[公 0]</p> <p style="text-align: center;">[私 128]</p>
	合 計	<p style="text-align: right;">245,668</p> <p style="text-align: center;">[国 213,256]</p> <p style="text-align: center;">[公 27,745]</p> <p style="text-align: center;">[私 4,667]</p>

※端数処理のため、合計値が一致しない場合がある。

(表 2 : 公園区域 (海域) 表)

区	域	面積 (ha)
北海道様似郡様似町の地先海面の一部		836ha
北海道幌泉郡えりも町及び広尾郡広尾町の地先海面の一部		5,674ha
合	計	6,510ha